

令和7年度 第2回東郷町地域包括支援センター運営協議会会議議事録

日 時	令和8年3月6日（金）午後2時から午後3時30分まで
場 所	役場3階 政策審議会室
出席者	委員（敬称略、順不同） 制野 司 学識経験者 石川 洋子 被保険者代表 松山 陽二 介護サービス事業者代表 野々山 郁 医療関係者 田中 清 福祉関係者 三宅 智 医療関係者 古橋 完美 保健関係者 住田 敦子 権利擁護関係者
欠席者	古橋 完美
傍聴者	なし
事務局	福祉こども部長、高齢者支援課4名 東郷町北部地域包括支援センター1名 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑2名
議 題	1 あいさつ 2 報告事項 令和7年度東郷町地域包括支援センター事業報告について【資料1】 3 議題 (1) 令和8年度東郷町地域包括支援センター運営方針（案）について【資料2】 (2) 令和8年度東郷町北部地域包括支援センター事業計画（案）について【資料3】 (3) 令和8年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業計画（案）について【資料4】
配布資料	次第 資料1-1 令和7年度東郷町北部地域包括支援センター事業報告 資料1-2 令和7年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業報告 資料2 令和8年度地域包括支援センター運営方針案 資料3 令和7年度東郷町北部地域包括支援センター事業計画案 資料4 令和7年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業計画案 委員名簿

1 あいさつ

2 報告事項

令和7年度東郷町地域包括支援センター事業報告について
個人情報の取り扱いがあるため、非公開とする。

3 議題

(1) 令和8年度東郷町地域包括支援センター運営方針（案）について

事務局	資料説明。資料2
会長	事務局から説明を頂いた。これについてなにか質問はあるか。 いくつか追記しているということか。
事務局	そのとおり。
会長	ハラスメントの防止について、何か具体的な事例があるということか。各包括でもあれば願います。
事務局	報告は事務局側には直接ありません。
会長	もちろん個人情報であり、ここで言えることと言えないことがあると思うが。 東郷町ではどうか。
北部包括	直接北部包括の方ではないが、社会福祉協議会なので、ハラスメントの防止については、社協本体でハラスメント防止講座があり、職員が受けている。自分が4月から来て以降は無いか。
南部包括	南部は無い。
会長	東郷町は北部南部とも安心である。余談だが、うちの大学でも学生の宿題が多すぎるという保護者からのカスタマーハラスメントが昨今出る時代であるため、よろしく願います。 ほかにはないか。では次に進める。

(2) 令和8年度東郷町北部地域包括支援センター事業計画（案）について

北部包括	資料説明。資料3
会長	北部の事業計画案について、質問はあるか。
委員	高齢者の世帯にはばらつきがあると思うが、身寄りのない高齢者や高齢者世帯の中でも高齢者夫婦のみ世帯、単身世帯が多いかと思うが、そういう方々、それ以外でも家族がいても疎遠な方や関わりがなかったり、本当におひとりの方など、包括から見えるそのような方々の課題はどのようなことがあるか。
北部包括	先ほど委員がおっしゃったとおり、まったく身寄りのない方や家族がいても疎遠な方、正直なところ大変な方は、家族がいても疎遠な方が多く、頑張っても連絡をしても相手方から何十年もあつていなくて今更。親子関係がすでに昔から破綻しているなど、特に認知症の方だと連絡が取れず、電話をしても出ない場合は手紙を送ったり、時間をずらして電話してみたりしてもなかなか連絡取れないこと。
委員	それは、どうして連絡が取りたいのか。

北部包括	<p>本人が連絡しないでくれと言えば連絡しないが、自身が連絡をうまくできない人がいる。</p> <p>また、本人としても家族と連絡を取りたいが、自分の電話番号だと出てくれないなどの事情があり、連絡している。</p>
委員	<p>そういった方が地域が住んでいて、包括さんではご親族に本人がどういう状況になったら連絡を取りたいと思うのか。</p>
北部包括	<p>大きく認知面が正常な判断が認知症などで出来ないようになったなど。医療が必要になった時など話の内容により連絡とらせていただくことが多い。</p> <p>家が一戸建てで庭木が出てしまっていて近隣の方から苦情があつて、伸び放題など。</p> <p>最近3月ということもあつて車の車検の事で近隣住民が気にかけて車のステッカーを見て期限が切れてしまうのではないかという相談も多い。</p> <p>車を乗っている様子がありそうな方については張り紙等で本人にも伝えるが、そういうことで困っていることが多い。</p>
委員	<p>認知症の進行に伴って、例えばいろいろな介護保険の契約など一人では心配になってくるし、庭木の手入れができなくなって、近隣住民から苦情や相談があつたり、車の運転大丈夫かなとご心配されて連絡があつたりなど、包括へ持ち込まれるのか。</p>
北部包括	<p>あとは、民生委員から連絡がある。民生委員が近所の方から「電気がついていない」などの相談があつてなど。</p>
委員	<p>電気がついていないということで相談されるのか。</p>
北部包括	<p>電気がついていないから電気がうまく払えていないのでは。という相談であつた。電話をしても「お客様都合で・・・」となつて電話代が支払えていないのでは、など。あとはよくあるのは老人クラブの集まりに最近来ていないということで、民生委員から相談があつた。</p>
委員	<p>東郷町の違う会議で民生委員から孤独死が東郷町の中でもあるということで、地域のつながりを心配するということがあつた。</p> <p>でも、気づいて気にかけていてそこから相談が入ることか。</p>
北部包括	<p>そのとおり。このようなケースは週に1回ほどは相談に入る。民生委員や自治会長、ヘルパーや「隣の家的事で」と住民からの相談など。</p>
委員	<p>それだけ高齢者の一人暮らしが多いということか。</p>
北部包括	<p>そういうことかもしれない。</p>
会長	<p>ありがとうございました。聞き入ってしまったが、民生委員が機能しているからそういう相談が上がってくるという見方もできるが、あまり零れ落ちていかないようにしてほしい。</p>
北部包括	<p>なかなかインターフォンを押しても出てこない方が一番困る。玄関ドアを鳴らすことぐらいしか出てこないのです。</p>
会長	<p>民生委員としてはどうか。課題など。</p>

委員	<p>課題は、民生委員が今訪問しているのは高齢者の一人暮らしで、「来てください」と言われる方だけ。その申し出がないと訪問するリストに上がってこない。町からそのリストが来る。</p> <p>リストをもらって毎月1回は訪問しているが、ある日から家にいないということがある。施設に入られたかどうかはわからない。自分たちからすると親戚に電話する。ある方は町の方にも住民票を移すから訪問しなくていいと言われるが、まったくそういう情報が入らないこともある。先ほどの連携という言葉があるが、どうも（町に）情報がある方はわかるが、片や情報がなくて分からないということがあるかもしれないが、（町が）伝達してくれればもう少し問題を発掘できるか。</p> <p>連携のやり方（マニュアル等）を整理する必要があると思う。</p>
会長	<p>どうやら課題がありそうか。仕組みの問題なのか体制的なものを含めて。時間があるため進めていく。</p>

(3) 令和7年度東郷町南部部地域包括支援センター東郷苑事業計画（案）について

南部包括	資料説明。資料4
会長	説明をいただいたが、何か質問はあるか。
委員	<p>すごく周知に力を入れておられるということだが、こういったところから地域の相談が拾ってこられると思った。</p> <p>一つ教えてほしいが、認知症カフェに若年性認知症の方も参加されるとのことだが、若年性認知症の方は課題が違うと思うが、どうか。</p>
南部包括	<p>主人が若年性で、奥様がという方もいた。今65歳過ぎていた。</p> <p>課題が違うということだが、先ほど言ったとおり認知症があってもなくても混じって過ごすということ。違和感なく楽しく過ごしていたと思う。</p> <p>総合的な相談も乗っているが、地域の方と混じって過ごすということを目的にしてやっている。</p>
委員	<p>もちろん介護者の方も混じって過ごすというのは良いと思うが、若年性認知症の方も社会参加していくという視点やまだまだ仕事したい、普通のデイサービスにはいけないという課題があると思うが、認知症になったら楽しく過ごすというのも大事だと思うが、そういった社会にどのように参加するか、その人たちがどういう役割持てるような関わりや取り組みがあるかどうか。</p>
南部包括	<p>認知症カフェ以外ということであれば、あった。男性の若年性認知症の方だが、子どもが小学校から家まで送り届ける。手をつないで一緒に帰るなどもあった。</p> <p>一緒にコーヒーを飲んだりして。楽しんで行けるためにそういったことをしたり。</p>
委員	<p>色々な取り組みがあって参加してみたいと思うものや、参加することで自分の役割があるというものがたくさんできると認知症の方自身が、やってもらうだけの存在でないということが大事だと思う。</p>

南部包括	色々難しい。そもそも発見すること自体が難しい。高齢者だと家族やお隣の方が発見される方も多くお隣さんが通報してくれたりするが、働いていると家族の次に一緒に働いている人が気づくが、働いているところが東郷町でない場合に相談できない、一緒に働いている人が包括支援センターを知らないなどがある。
委員	名古屋市だと若年性の方のデイでお仕事をする場があったりするが、なかなかニーズ、まず発見することが難しいということか。
会長	反対に委員、若年性の幅のような段階などを狙っていくものか。
委員	あまり、地域の中で私たちも若年性認知症の方に出会わない。以前ケアマネをしていた時はその時は若年性を担当していたが、逆にその場合家族、親御さんがまだ若いため親御さんが一生懸命頑張っていた。地域の中で出ていく場がなく、社会資源につなげる場がないということをしごく課題に感じていた。 進行も早いため、発見して仕事が難しくなり、地域で暮らして仕事以外の居場所をどのように作っていくのが課題と思っていた。家族が抱えているというのが。

3 その他

会長	ほかに質問はないか。なければ、トータルで包括の運営協議会として大きく見て何かあれば意見交換を含めて話したい。
委員	ハラスメントについて、自分もカスタマーハラスメントに近い状況になった経験があるが、今電話を録音するシステムがあるが、そういうことはやっているのか。 客観的な言葉が残っていないと後で「言った、言わない。」がすごく大きい。そういうカスハラの方は論理が変わっていく。まったく自分が言ったことがコロコロ変わっていることに気づかずに自己主張が強いため、弁護士を入れる話になってしまう。 録音するとすごくいい。そこまでお金のかかることではないため、録音を役場に提案したい。楽だと思う。
事務局	議会を通っていないため、正確には言えないが、東郷町でも令和8年度に録音できるような仕組みをつける予算を要求している。愛知県の方でカスタマーハラスメントに関するものがでたため、東郷町でもそれに習って対応を考えていくことになり、その一つとして録音機能費用を計上している。 言った、言わないがよくあるため、そこを対応できるように町としては進めている。
委員	最近自分も仕方がないため録音している。 あともう一点、この町に70年以上に住んでいるから分かるが、墓が荒れている。祐福寺は小さいときはデイサービスのようなものを受けた経験がある。心のケアの部分としても結構いい。認知症を含めて。 もう一つ宗教があるから難しいが、お寺であるからお経が口のリハになる。

	<p>心も落ち着くし、インフォーマルサービスとしていいと思う。</p> <p>宗教があるので難しいかもしれないが、昔は檀家がいって集まって、それがインフォーマルサービスだった。新旧が入り乱れてきているからあえてここで一遍再構築するのも面白いアイデアだと思う。</p> <p>正しいかどうかわからないが、寺に集まるのも良いのではないかと思っている。寺は広いところがある。助けてあげてほしい。</p>
<p>会長</p>	<p>録音機能も浸透している。幼稚園も特にそういった事例が多い。それをカスハラと言っはいけないが、園児がささくれ程度の少しのけがをしたというご両親と祖父母が4人で怒鳴りこんできたりする。</p> <p>こちらとも言われたことを忘れてはいけないので。と丁寧に説明して録音させてほしいと言ったが、それ自体がハラスメントだという。それで録音をやめると私たちは録音してもいい立場なのと言って録音を始める。</p> <p>色々な知識がある。ちゃんとした防衛策がないとカスハラはカスハラで面倒である。単純な話ですまないことが多い。</p> <p>私たちは必ず学校法人としてまずは顧問弁護士に相談することから始める。最初から専門的な知識で対応する。</p> <p>もちろん録音は大切な初期的な対応である。</p>
<p>委員</p>	<p>もうひとつ。先ほど民生委員さんが家に行ってもいない、情報がないということがあったが、この間日進市のある地域の地域ケア会議に出て、その地域は400世帯あるが、高齢者世帯を全て把握してデータベース化しているとのこと。何かあったら自治会に聞けば何でもわかる。個人情報の事もあるが、誰々はどうしていると言ったら、その人は入院しているなどその地域はちゃんとわかる。包括に相談に来た誰々さんがサービス使いたくないと言ったら何もサービスが入らないし、見守りがないからということで、そこから自治会に電話して、「介護の負担があるかもしれない、老老介護になっているから見守りしてほしい」と言ったらそれもデータベース化してあり、重鎮が指示を出すとコーディネーターや近所の人が声をかけるとのこと。情報の使い方がすごい。昔からそうだという。</p> <p>個人情報が大変だが、お互い了解済みでお互いに見守り機能が発揮できるのがすごいと思う。そういう仕組みがあると孤独死の問題があるが、新聞屋さんが新聞がたまっていることを知っていたが、包括に伝えていなかったということが課題にあがっていた。</p> <p>東郷町もそうだと思うが、新聞店など見守り協定があり、新聞がたまっていると町や市に連絡することとなっており、年1回手紙を出すそうだが、新聞屋さんがそのことを忘れてたり、連絡しなかったりということがあった。見守り協定の見直しをすることとなった。</p> <p>どのように見守り機能を構築していくか。包括の力も借りてやっていくことだと思う。</p>

委員	<p>ひとつ。数回か会議に出て思うが、やっていることがすごく大変。ほぼほぼ草の根の根っこのひげの部分をやっている。さらに全体的な周知をやらなければならない。包括支援センターの制度や法律に詳しくないが、個別でやらなければならないのとそうではないのと分けられないのか。</p> <p>ものすごく効率が悪いと言っては申し訳ないが、一生懸命少ないリソースを割いてやらなければならないのはとっても大変だと思う。さきほどの新聞配達の人達も全然人手が足りない。バイクだけがをしてくちを受診しても骨折してもやる人がいないからやるしかないという。</p> <p>そうになっていくと、リソースが少ないのだから全体的な周知する部分と草の根ひげ活動と上手に分けていかないと。</p> <p>話を聞いていると企業だといくら公的資金が入ったも何も回らない状況だと思った。大きなところで違うものを作って周知活動だけのグループを作ったりできないものなのか。個別に活動する部分と広報部分は得意分野が違うと思うが、ルール上できないものなのか。</p>
会長	<p>ルール上は分けることはできると思う。</p> <p>体制の問題、財政の問題だと思うがわかること自体はできる。</p>
南部包括	<p>尾張旭がそうでないか。相談受けるところとケアマネ事業と分かれていることがなかったか。</p> <p>周知のところだけでなく、個のところと全体のところと分けるという意味で。尾張旭にあったような。</p>
委員	<p>尾張旭は2か所。社協と。</p>
南部包括	<p>相談部門と分かれていなかったか。違ったか。</p>
委員	<p>尾張旭は部会があって、見守りなどいろいろやっているが、見守りに関してはきちっと認知症の方を把握して何かあったら市に必ず連絡する。</p> <p>電子@連絡帳のようなものでその人の事を周知して見守るということがあ</p>
委員	<p>インフォーマルサービスをうまく使ったり、コーディネーター、CSW と一緒にやっていくということが大事では。</p>
委員	<p>あの人認知症なんだと言われるのがすごく嫌だというご家庭もあり、難しいと聞いている。</p>
会長	<p>委員がおっしゃったような、これをきっかけに東郷版ができてくるとよいと思う。両センター長が今命がけでやっていると思うが、確かに住み分けをして集中して得意領域としてやれるとよい。以前から言われていた。何でもかんでも全部包括になってしまっていて。</p> <p>どの作業も電話から始まって最後全部包括がと負担になっていることは間違いない。中では割り振りができていると思うが、包括全体としてかなり厳しい環境であることは確か。</p> <p>今ここで回答が出るものではないと思うが、ご意見あればよろしく願います</p>

	<p>る。</p> <p>なければ、これで報告、議事がすべて終了したので、事務局へお返すする。</p>
事務局	<p>会長、ありがとうございました。続いて、事務連絡をさせていただく。</p> <p>今年度の地域包括支援センター運営協議会は、今回は最後となる。ありがとうございました。</p> <p>なお、報告事項で示した資料は回収させていただく。</p> <p>来年度の第1回目の開催については、令和8年7月ごろを予定している。各地域包括支援センターの事業実績などをご報告する予定である。</p> <p>また改めて、開催の案内をお送りするので、よろしく願います。</p> <p>これをもちまして、令和7年度第2回東郷町地域包括支援センター運営協議会を終わる。</p> <p>長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。</p>

以上